

## 基本情報

時間割コード／Course Code	306400
開講区分(開講学期)／Semester	通年
曜日・時間／Day and Period	他
開講科目名／Course Name (Japanese)	日本語・日本文化海外特別研修
教室／Room	その他
開講科目名(英)／Course Name	Special Training Abroad in Japanese Language and Culture
定員／Capacity	0
ナンバリング／Course Numbering Code	30JALC6BY03
必修・選択／Required/Optional	
単位数／Credits	2.0
年次／Student Year	1,2年
分野／Field	
担当教員／Instructor	真嶋 潤子,加藤 均,高井 美穂,永原 順子

[授業担当教員一覧](#)

## 詳細情報

講義題目／Course Name	日本語・日本文化海外特別研修
開講言語／Language of the Course	日本語
授業形態／Type of Class	その他
授業の目的と概要／Course Objective	日本語・日本文化を発信する国際的な場で活躍するために必要な、海外での研究集会やワークショップの企画・立案・交渉・運営にかかわる実践的能力を育成する。具体的には、海外研修中はマヒドン大学（タイ）とのジョイントキャンパスを拠点として、現地で日本語・日本文化を専攻する大学院生との学術交流会の実施・運営に従事する。
学習目標／Learning Goals	国際的な日本語教育人材になるためのスキルを身につけることができる。日本語を共通語とする、異なった文化圏での学術交流の実際を体験することで問題発見・解決のための能力を伸ばすことができる。
履修条件・受講条件／Requirement / Prerequisite	言語文化研究科日本語・日本文化専攻在籍者 8月下旬に実施予定の7泊8日の海外研修に参加できる者。
授業計画／Class Plan	事前指導（15時間） 海外での研究集会・ワークショップ開催に必要な知識を学び、担当教員の指導のもと、日本語・日本文化専攻大学院生学術交流会（研究発表とワークショップで構成）の企画案を作成し、現地での連携校であるであるチュラーロンコーン大学及びマヒドン大学の教員・院生との連絡調整を行う。  海外研修（30時間） 現地の大学院生と協働して、会場準備・受付・司会進行を分担するほか、自らが発表者またはワークショップ参加者となることで、学術交流会の実施・運営に従事する。  事後指導（15時間） 担当教員の指導のもと、事後の検証を行い、その内容を各自がまとめ発表するとともに、成果報告書の作成・編集に携わることで、企画から報告までの一連の流れを体得する。
授業外における学習／Independent Study Outside of Class	以下の授業計画に沿って、必要な学習を授業外で行うこと。  事前指導（15時間） 海外での研究集会・ワークショップ開催に必要な知識を学び、担当教員の指導のもと、日本語・日本文化専攻大学院生学術交流会（研究発表とワークショップで構成）の企画案を作成し、現地での連携校であるであるチュラーロンコーン大学及びマヒドン大学の教員・院生との連絡調整を行う。  海外研修（30時間） 現地の大学院生と協働して、会場準備・受付・司会進行を分担するほか、自らが発表者またはワークショップ参加者となることで、学術交流会の実施・運営に従事する。  事後指導（15時間） 担当教員の指導のもと、事後の検証を行い、その内容を各自がまとめ発表するとともに、成果報告書の作成・編集に携わることで、企画から報告までの一連の流れを体得する。
教科書・教材／Textbooks	学術交流会実施マニュアルをプリントで配布する。
参考文献／Reference	授業内で適宜指示する。
成績評価／Grading Policy	事前指導での参加度、研修中の貢献度、事後指導での発表内容等を勘案して総合的に判断する。
コメント／Other Remarks	特になし。
特記事項／Special Note	特になし。
オフィスアワー／Office Hour	事前指導で説明する。

## 授業担当教員

教員氏名／Instructor Name
データがありません

学生への注意書き

--